

防災メモ

震災に備えて シリーズ⑦

地震の時はもちろん、普段から気をつけたい火災。特にこの季節は乾燥しており、火災の危険があります。

小さなお子さんで、まだ火の取り扱いができないような年齢の場合は、その危険性を大人が教えてあげましょう。

初期消火は出火から最初の3分以内が勝負

実際に火災が起きてしまったり、発見したりしたときには早期の通報、初期消火が一番大切！早く消火し、早く知らせる。すばやい行動が火災を最小限に防ぎます。

避難は生死をわける行動です。避難のタイミングは天井に燃え移った時です。避難は早めに！自分には、体力があると思っても火事現場では思わぬアクシデントも発生します。早く逃げるのが大切です。

問い合わせ先

生活安全課

(40) 55555

早く知らせる

発見

- ① 「火事だーっ」と大声で叫ぶ!!
- ② 動転して声が出なかったら、やかんやなべなどをガンガンたたいて、近所の人たちの助けを求める。



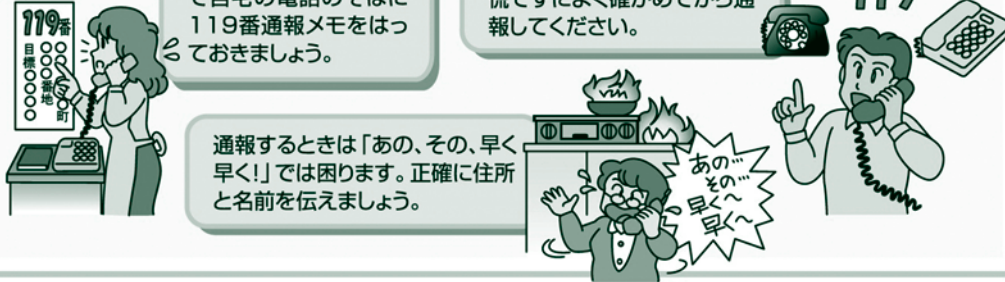
通報

いざというときに備えて自宅の電話のそばに119番通報メモをはっておきましょう。

慌てずによく確かめてから通報してください。

119

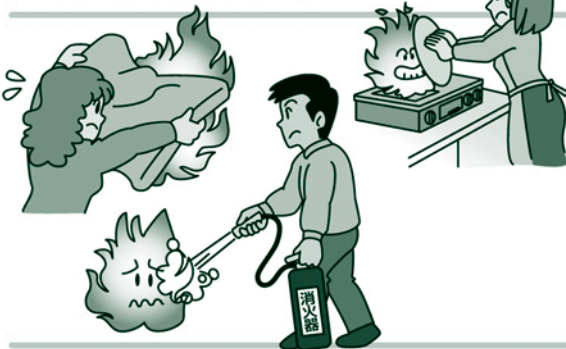
通報するときは「あの、その、早く早く!」では困ります。正確に住所と名前を伝えましょう。



早く消す

火の小さいうちに、勇気をもって初期消火に当たる。

- ① 消火は出火から3分以内が勝負。炎を恐れず勇気を出して、落ち着いて初期消火をする。
- ② 初期消火とは、火が天井面に移る前に消火することです。
- ③ 消火に使うものは消火器や水だけではなく、身近なものを何でも活用して、素早い対応を。



早く逃げる

避難は早く安全に。

- ① 天井に火が燃え移ったら、素人の手には負えない。的確に判断して、早めに避難する。
- ② 避難するときは、できるだけ燃えているところの窓やドアを閉める。

